

ご存じですか？

～福祉医療費の助成制度～

市は、福祉医療費助成を行っています。受給資格があり、まだ受給者証の交付申請をしていない人は、福祉課へ申請してください。なお、4月からは組織機構の見直しにより、申請の受け付けが、いきいき長寿課から福祉課に変わりましたのでご注意ください。

福祉医療費 Q & A



Q1. 助成対象になるのは？

A. 保険内診療にかかる自己負担額（高額療養費が支給される場合は自己負担額まで）です。

Q2. 助成対象にならないのは？

A. 初診にかかる特定療養費、室料差額、検診費用、文書料などの保険外医療費、また、入院時食事療養に係る標準負担額、入院時生活療養費に係る標準負担額も対象になりません。

Q3. 申請事項に変更があったら？

A. 住所、加入保険(健康保険証)に変更があった場合や、受給資格がなくなった場合は、速やかに福祉課に届け出をお願いします。

区分	受給資格者	申請期間	助成方法
こども	義務教育修了までの子 (満15歳到達後の最初の3月31日まで) 小学校就学前用(満6歳到達後の最初の3月31日まで)の受給者証(うぐいす色)および、小学校修了前用(満12歳到達後の最初の3月31日まで)の受給者証(水色)を持っている人には、有効期間の切れる約2週間前に延長分の受給者証(水色)を市から送付します。	・誕生日を含め30日以内 ・転入日から30日以内	<県内の医療機関> 健康保険証、受給者証を医療機関の窓口に表示することにより無料 <県外の医療機関> 自己負担額を医療機関の窓口で支払い、診療を受けた翌月以降に福祉課へ支給申請をする
重度心身障がい者 (次の～のいずれかに該当する人)	身体障害者手帳1～3級を持っている人 65歳未満で身体障害者手帳4級所持者のうち、本人の前年所得が市民税均等割以下の人 65歳未満で身体障害者手帳4級所持者のうち、戦傷病者手帳(特別項症～第4項症)を持っている人 65歳以上で身体障害者手帳4級を持っている人 療育手帳を持っている人 精神障害者保健福祉手帳1、2級を持っている人	・手帳の交付日から30日以内 ・転入日から30日以内	
母子家庭等 (かのいずれかに該当する人)	18歳に到達する年度末までの児童(以下、該当児童)を扶養している、配偶者のいない母親とその該当児童 父母のいない該当児童	・母子家庭等か父子家庭に該当した日から30日以内	
父子家庭	該当児童を扶養している、配偶者のいない父親とその該当児童	・転入日から30日以内	

申請が遅れると助成期間が短くなる場合があります。

☑ はり、きゅう、マッサージ施術料の一部を助成します

市は、高齢者を対象に保険外でかかるはり、きゅう、マッサージ等施術料の一部助成をしています。助成を受ける人は、福祉課へ受療補助券の交付申請をしてください。

対象者 70歳以上の人および後期高齢者医療の被保険者

助成内容 1枚1,000円の補助券を年間6枚交付します(年度途中で申請する場合は、2カ月に1枚の割合で交付)。

申請に必要なもの 後期高齢者医療被保険者証または高齢受給者証、印鑑
市が指定する施術者で利用してください。

問合先 福祉課